



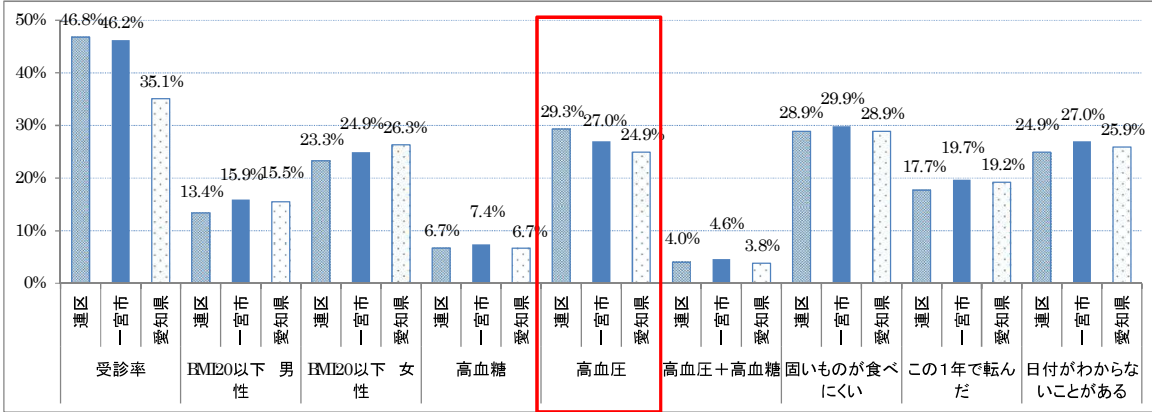
# ● 神山連区の情報 ●

## ⑦連区の人口構成 R5.4.1

総人口： 15,669 人 (男性 7,627人、女性 8,042人)  
世帯数： 7,481  
高齢化率： 23.4 % (市内高齢化率が高い順で23連区中21番目)

## ⑧一宮市後期高齢者医療制度 健康診査 (令和5年度)

被保険者人数 市 61,344 人 連区 2,073 人



「BMI 20以下」、「固いものが食べにくい」、「この1年で転んだ」、「日にちがわからないことがある」の4点はフレイル（虚弱）に関する質問項目になります。   …改善したいもの 資料：KDBシステム

## ⑨地域活動 (地域包括支援センター「やすらぎ」や社会福祉協議会の活動より)

### ・ 駅東 栄地区長生クラブ

高齢福祉課と包括で「エンディングノート」についての出前講座をしました。



### ・ 民生児童委員と包括との連携

民生児童委員協議会に定期的に参加し、地域の高齢者について相談を受けたり、同行訪問も行っています。一人暮らし高齢者の集いで、演劇を行いました。



### ・ スーパー、薬局まわり

認知症地域支援推進員の活動で、スーパーをまわり、認知症の方の対応について困りごとはないか等、聞き取りを行っています。

## ⑩データから見る地域の特徴と健康の課題

《市全体のこと》

- 平均的に要介護2以上の期間は、男性で1.6年、女性で3.1年。この期間を短くすると、自分のことが自分でできる期間が長くなる。今後の、健康増進、介護予防の取り組みでこの年数を減らすことが望まれる。

《連区のこと》

- 健診受診率は市と比べると高い。後期高齢者の健診は、フレイル健診とも言われ、知らない間に進むカラダの変化のチェックができる。生活の中の工夫で、病気や介護を遠ざけることもできるから、1年に1回利用しよう。

かかりつけ医を持ち、病気だけでなく、カラダの変化も相談しよう。これから何がしたい？今後の人生に楽しい時間が増えるかもしれません♪



- 健診の結果から「高血圧」が市より多い。自覚症状がないから、病院で診てもらわなければならない。
- 質問票の結果から、低栄養・オラルフレイル・転倒・認知機能の低下が心配な人は市よりも少なかったよ！

### ◆ 地域活動について

市民が主体となって集まりを企画したり、地域で講演や講座があること、そしてたくさんの市民が参加していることは、フレイル予防のよい活動となっている。



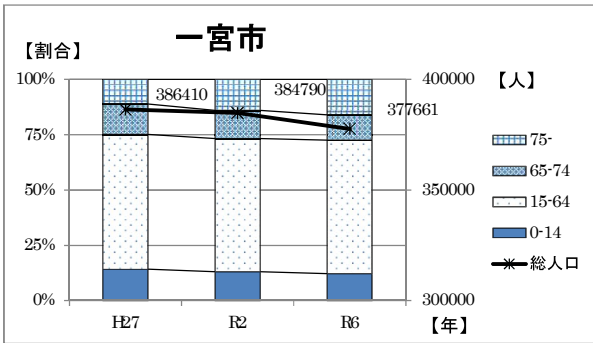
フレイル予防は、運動、食事、人との交流がキーポイント。連区の活動は、フレイル予防に繋がっているね！



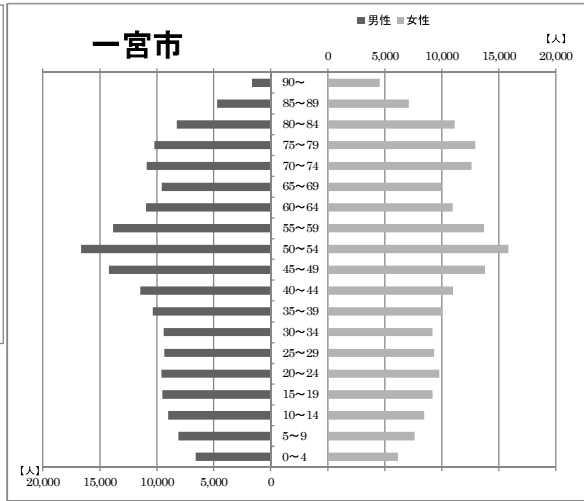
# 一宮市の情報

## 一宮市の情報

### ①人口推移(各年4月1日)



### ②男女別年齢階級別人口(令和6年4月1日)

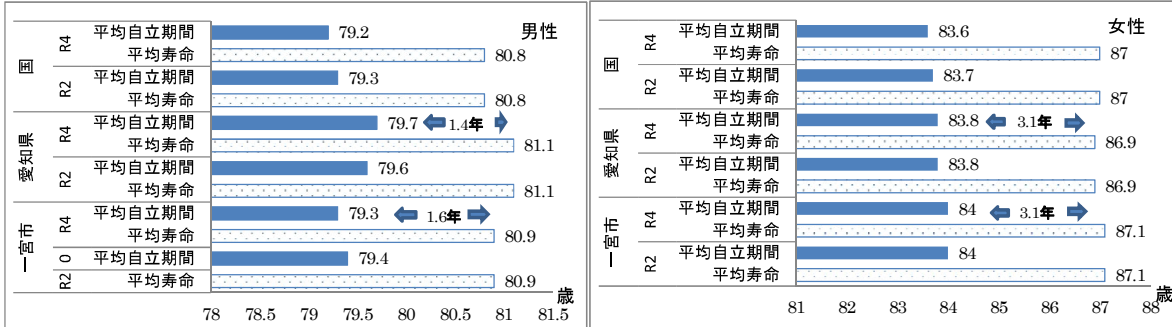


### ③人口構成(令和6年4月1日 住民基本台帳)

総人口: 377,661 人(男性 184,259人、女性 193,402人)  
 世帯数: 168,204  
 高齢化率: 27.4% (参考: R6国29.3%、R6愛知県25.8%)  
 要介護認定率: 17.5% (令和5年9月末 第9期高齢者福祉計画)

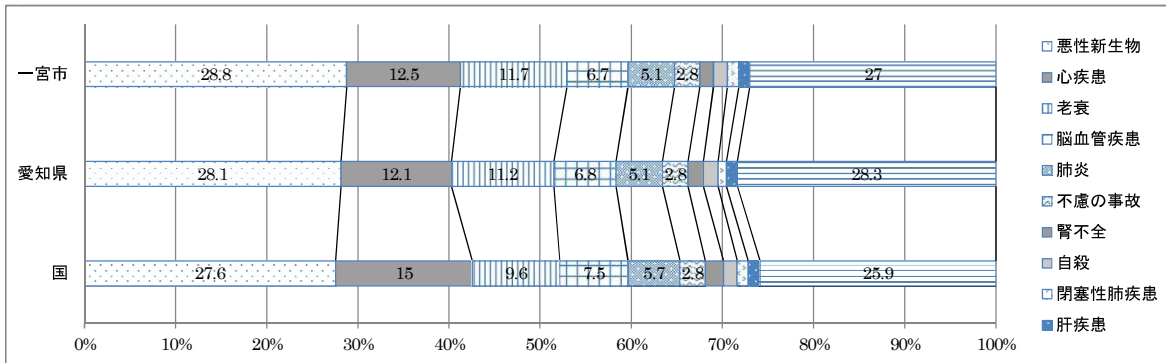
### ④平均自立期間(市町村レベルの健康寿命の指標)

平均自立期間とは、日常生活動作が自立している期間の平均年数を示す。要介護2以上を不健康状態と定義して、平均余命から不健康期間を除いたもので算出します。参考として、平均寿命を掲載しているが、単純に比較できるものではない。



平均寿命は、男女とも、令和2、4年は同じ。愛知県よりも男性は1.8年短く、女性は、0.2年長い。平均自立期間と平均寿命の差が、平均的な不健康期間となります。男性は約1.6年、女性は3.1年で男性は、愛知県よりも0.2年長く、女性は同等でした。

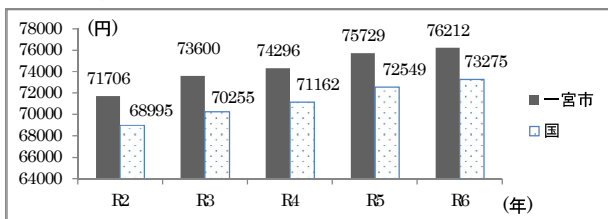
### ⑤主要死因別順位(令和2年度)



資料:健康日本21いちのみや計画

### ⑥後期高齢者医療保険制度 医療費データ

一人当たり医療費(一宮市)



死因の上位を悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病が占めている。生活習慣病は、予防対策があるもから、かかりつけ医や保健師に相談し、自分にあった対策を考えよう。早めに対策することで医療費も安くなることもあるよ。



資料:KDBシステム